



みつじょうの丘

学校だより 第9号

東広島市立三ツ城小学校

令和7年12月14日

気がつけば12月！令和7年のしめくくりです。

4月から始まった三ツ城小学校の教育活動ですが、あっという間に12月を迎えるました。この間、運動会や学習発表会等たくさんの行事をはじめ、地域学習や教科学習を通して、子供達は成長してきました。これも保護者や地域の皆様に支えていただいたおかげであると感謝しています。ありがとうございました。

新しい年、令和8年もよろしくお願ひいたします。

三ツ城小学校が開校して25年目

今年は、三ツ城小学校が開校して25年目を迎えるました。開校当初は489人でスタートした三ツ城小学校ですが、現在は733名の大規模校となりました。(12月1日現在)

そこで、開校から25年を振り返り、三ツ城小学校のすごいところを紹介します。

ここがすごいぞ！三ツ城小！

○25年前、東広島市初の「エコ・スクール」として誕生しました。そのため、校舎にはエコにつながるものがたくさんあります。(4年「総合的な学習の時間」で学習します。)

- ① マツダスタジアムと同様、雨水を貯めるタンクが地下にあり、トイレの水は雨水を利用しています。ちょうど、中・高学年の下駄箱下はその雨水がたまるタンクがあります。
- ② 風力発電による時計と、太陽光発電があります。太陽光を利用した温水は家庭科室で使うことができます。(開校当時は、プールのシャワーも太陽光による温水でした。現在はありません。)
- ③ 自然の光を取り入れる工夫がいっぱいあります。(中庭のある設計、ガラスブロックの壁、太陽光を取り入れる天井吹き抜け)



【貯水量と発電量等が分かるパネル】

○校章には、西条小学校から分離したという証と、三ツ城を象徴する形が隠されています。25年前、西条小学校より分離したということで、西条小学校の校章より桜の花びらを引き継ぎました。また、三ツ城には広島県最大である前方後円墳の三ツ城古墳があります。その前方後円墳を形取ったものが三つあります。



第2回学校運営協議会を開きました①

令和5年度より、学校運営協議会を設置し、コミュニティ・スクールとしてより良い学校となるように取り組んでいます。11月中旬に開いた第2回学校運営協議会では、学校評価（中間発表）と、BBベースについて協議をしていただきました。



【協議の様子】

（1）学校評価（中間評価）

項目	重点	評価計画				自己評価	
		中期経営目標	短期経営目標	目標達成のための方策	評価項目	目標値	達成値
10月	2月						
豊かな心（徳）	1	多様な他者を尊重し、協働できる児童の育成	あいさつの充実を図ることで、多様な他者と協働しながら他者を尊重できる学校生活を送ろうとする児童を育成する。	○あいさつの例を具体的に示し、目標設定や評価に生かすことで、自ら進んで元気よく、友達や先生、地域とつながるあいさつに対する意欲を高める。（目標設定と自己評価、他者評価）	○自ら進んであいさつができると肯定的に答える児童の割合（児童アンケート）	90%	80%
確かな学力（知）	2	主体的、協働的に学び続ける児童の育成	教科等の特質に応じたつける力を明確にしながら、「学びがつながる」授業づくりを行い、主体的に協働的に学ぶ児童を育成する。	○教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働きかけた授業づくりに取り組む。 ○児童の実態を踏まえた「指導の個別化」や「主体的・協働的な学び」のできる授業づくりの工夫・改善に取り組む。	○意欲的に授業の工夫・改善を行っている教職員の割合（教職員アンケート） ○学習アンケートの「主体性」、「協働性」を見取る項目において肯定的評価の児童の割合（児童アンケート）	85%	80% 82%
健やかな体（体）	3	健康でたくましい心と体の育成	運動習慣の確立を目指し、年間を通して体力づくりに取り組むことで、基礎体力の向上を図り、自己や集団の目標にチャレンジしつづける児童を育成する。	○毎週のロング屋休憩等を活用し、外で体を動かす機会を確保する。 ○三ツ城タイムでいろいろな遊びを提案し、体を動かす楽しさを伝える。スポーツイベントを実施し、集団の目標に向かって体を動かす場を設定する。	○週2回以上1日20分以上運動する児童の割合（児童実態調査）	85%	85%
地域とともににある学校づくり	4	保護者や地域に開かれた信頼される学校づくり	学校と地域が協働することで、子供たちの学びや成長を支えるための取組を行うとともに、地域、保護者への発信を通して信頼される学校づくりを行う。	○三ツ城の地域や人へ感謝の思いや愛着をもたせるために、地域と共に協働して行う授業や行事を実施したり、参加したりする。	○地域とともに協働して行う授業や行事を通して三ツ城の地域や人へ肯定的な思いをもつ児童の割合（児童アンケート）	85%	98%
			子供と向き合う時間の確保と働き方にについての意識の高揚を図る。	○学校だよりやHP、コミュニティ・スクールだより等の発信を通して、学校の情報を保護者・地域に伝え、開かれた学校づくりを行う。	○学校の情報を地域・保護者に発信することを通して、信頼される学校づくりについて肯定的に答える保護者・地域の割合（アンケート）	85%	80%
				○業務改善について教職員一人一人が年間3つ以上の具体的な方法を設定・実践する。	○業務改善を進めることができた（達成度3・4）と答えた職員の割合		二月に評価なし

「豊かな心」「確かな学力」「健やかな体」「地域とともにある学校づくり」について、今年度の教育活動や学校運営の状況について評価しています。この評価を基に組織的・継続的な改善を図ります。

（裏につづく）

第2回学校運営協議会を開きました②

(2) BBベース

BBベースとは、学校と地域が協働してつくる「遊び(ASOBI)」・「学び(MANABI)」があり、子供にとって「基地(BASE ベース)」となる居場所（場所、時間、人とのつながりを含む）です。これは、東広島市の施策として進められているものです。

三ツ城小学校では、平成19年から「放課後子供教室 わくわく広場」が発足され、現在まで続けていただいております。放課後子供教室はBBベースの一つとも言える取組です。しかし、協議をしていく中で、「①十分な場所を確保しにくい」「②スタッフがたりない」「③ボランティア団体（広大生）との連携が難しい」という課題があげられました。中でも「スタッフ不足」は大きな課題です。どのようにすれば課題解決できるか、運営協議委員の皆様にもご意見をいただきました。

そこで……学校便りでスタッフ募集をしてみることにしました。

お手伝いをしてくださる方 募集！！

放課後子供教室のスタッフとして、毎週木曜日に子供達と共に活動をしてみませんか？年間の計画・運営をしたり、様々な教室のお手伝いをしたりしてくださる方を募集しています。興味のある方は、是非話を聞いたり、体験活動をしたりしてみてください。詳しい事については、学校(421-1020)まで連絡をください。

お知らせ・お願い

○**名札**についてお知らせいたします。来年度より、内側の布を紙に変更いたします。

そのため、現在の布は在庫が終わり次第、販売を中止します。内側の布がなくなつた後に購入希望される方は、代用品の紙をお渡しします。

名札（外側）…60円、 布（内側）…30円

※両方を買われる方は90円となりますが、布の在庫がなくなり次第、外側の代金（60円）だけいただきます。

○2月7日（土）は、「三ツ城ふれあいDAY」です。ふれあいDAYでは、地域の方やPTA、広島大学の学生の皆さんと一緒に餅つきを行います。そこで、**前日の6日（金）と当日の7日（土）にお手伝いにきていただける方を募集しています。**

6日（金）…午後（10名程度）

（内容）道具やもち米等の洗い物・準備

7日（土）…午前（20名程度）

（内容）餅のつき手や丸め手

少しの時間でも手伝っていただける方は教頭（421-1020）までご連絡ください。